



滝野東小学校だより

令和3年2月3日 文責 神田

緊急事態宣言下の学校生活～避難訓練を実施しました～

現在、兵庫県に1月14日（木）から2月7日（日）までの間、「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」が発出されています。（2月2日緊急事態宣言の1ヶ月延長が決定されました）発症数は下がっているものの、重症病床使用率が60%を超える日もあるなど医療体制は非常に厳しい状況です。

それに伴い、医療機関やホテルだけでなく、在宅医療の始まった市町村も出てきました。学校でも警戒度をこれまで以上に高めて、子ども達の心身の状況や北播磨、加東市の感染状況に留意し、学校生活がより安全に過ごせるよう努めていきます。引き続き家庭でも感染予防の取組へのご協力をよろしくお願い致します。

さて、本校では、1月15日（金）に地震に備えた避難訓練を実施しました。今回の避難訓練では、震度6程度の大きな地震が発生したと想定して行いました。まずは、3時間目後の休み時間に、緊急地震速報の音を放送で流し、子どもは、教室、廊下、運動場等のそれぞれの場所で、身を守る行動を取りました。その後、揺れが収まったことを確認し、教師の指示で運動場に避難しました。

防災学習で大切なことは、訓練上の基本行動を身に付けること（おさない、はしらない、しゃべらない、近づかない）、自らの判断で、頭を守る等の身を守る行動をとることです。26年前の阪神・淡路大震災時、わたしは、姫路市のマンション6階に住んでいました。当時幼かった2人の息子たちとタンスのある部屋で川の字で寝ていました。午前5時46分の大きな揺れによって、マンションは振り子のように大きく揺れました。タンスが息子たちの方へ倒れてきそうになったので、あわてて体をタンスに押し当てて止めたことを今でもはっきりと覚えています。今、大きな地震を体験したことのない世代の子どもたちですが、体験している私たちが、命の守り方だけでなく、地震の怖さや命の尊さを伝えていくべきなのだと強く思います。

6年生出前授業～1票の重みを実感しました～

1月19日（火）、6年生の子どもを対象に、加東市選挙管理委員会主催の「選挙出前授業」が行われました。今回の選挙では、子どもたちが、休み時間に使う遊び道具を、選挙演説を聞いた後に投票で決めるというものでした。

選挙演説には、2人の立候補者が立ちました。滝野はずむさん（仮称）は「体づくりボール」について、東なげるさん（仮称）は「フォームボールイレギュラー」について、それぞれの良さを訴えました。この演説と選挙公報とともに、どちらのグッズが良いのかを投票によって決めました。結果は、「体づくりボール」に決まり、本校に「体づくりボール」を選挙管理委員会から寄贈していただくことになりました。子どもたちにとって選挙を身近に感じる事ができた時間になりました。

マスクはきちんと
鼻と口を覆いましょう



顎だけマスク



鼻だしマスク

